

元年度決算

新庁舎建設により 歳出増額

会計別歳入歳出決算

会計別	歳入(収入済額)	歳出(支出済額)		
一般会計	243億733万円	238億6,706万円		
特別会計	国民健康保険	73億7,151万円	67億7,887万円	
	介護保険	52億4,439万円	50億4,501万円	
	簡易水道事業	583万円	465万円	
	下水道事業	26億6,034万円	24億833万円	
	羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業	2,385万円	2,385万円	
	インター北土地区画整理事業	9,127万円	3,401万円	
	駅北本郷土地区画整理事業	1億3,827万円	1億413万円	
	後期高齢者医療	7億6,208万円	7億4,502万円	
	企業会計	収益的収支	67億5,128万円	64億6,416万円
		資本的収支	8,998万円	2億9,334万円
収益的収支		8億6,784万円	6億4,061万円	
資本的収支		1億5,636万円	5億7,152万円	

令和元年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が市議会で認定されました。市の決算状況のあらましをお知らせします。

■問い合わせ先
財務課(内線2382)

一般会計

歳入

歳入全体の決算額は243億733万円、前年度と比べて17億3470万円、約7%増加しました。

歳入には、地方公共団体が自主的に収入することができ、市税や手数料などの自主財源と、国や県から交付される依存財源があります。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。

元年度の歳入決算額に占める自主財源の割合は、前年度より4.1ポイント低い50.6%となりました。これは、依存財源である市債の増加によるものです。

歳出

歳出の決算額は238億6706万円、前年度と比べて18億1834万円、8.2%の増加となりました。

内訳を見ると、保健医療や福祉等の民生費が34.4%と最も比率が高く、約82億円を支出しています。次いで総務費が22.1%、衛生費が11.7%を占めています。

総務費は20億493万円増加しています。主な要因は、新庁舎建設事業によるものです。

借金の返済額である公債費は、前年度と比べて2121万円減少しています。

市民1人当たりの負担

市民1人当たりの市税の負担は、13万9931円となりました。前年度と比べて5978円の負担増となっています。

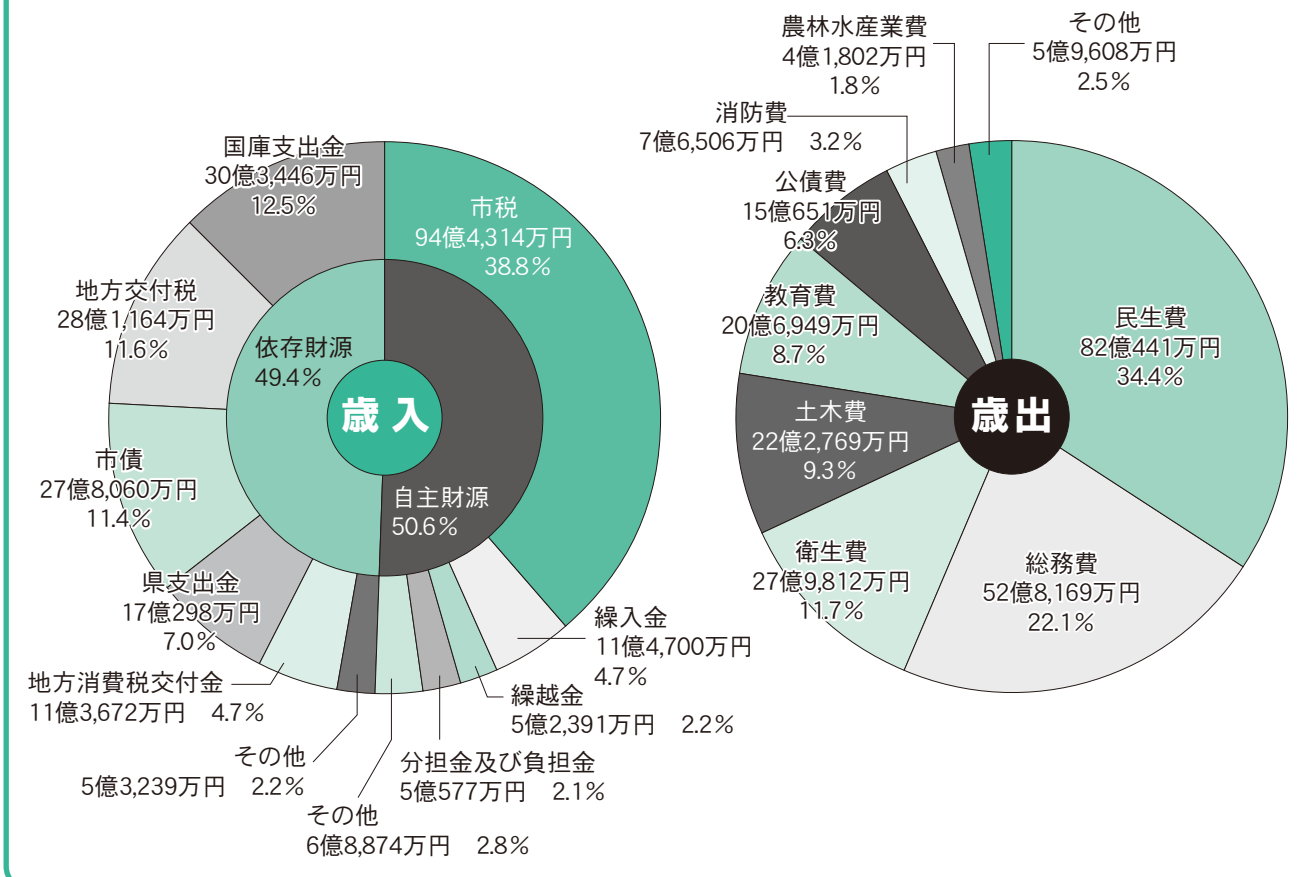
市債残高の状況

元年度一般会計決算での市債残高(借金の残高)は、約183億円で、前年度と比べて約14億円増加しました。これは、新庁舎建設事業によるものです。

元年度 羽島市一般会計決算

歳入 243億733万円

歳出 238億6,706万円



特別会計

特別会計のうち、国民健康保険は、被保険者数の減などにより、歳出が前年度に比べ4億1303万円(5.7%)減少しました。一方、介護保険は、介護給付費の増などから、前年度より歳出が1億1987万円(2.4%)増加しました。

企業会計

独立採算が原則の企業会計には、病院事業と水道事業があります。病院事業は収益的収支では経常損失となったものの、引当金の取り崩しにより、最終では純利益計上(8億4726万円)となりました。

経常収支比率

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの経常的な収入に対し、人件費や扶助費などの経常的な支出が占める割合のことです。財政の弾力性を示す指標です。この指標が低いほど財政の弾力性があり、自治体独自の施策に充てる財源が多くなるといえます。

